



大阪ガス

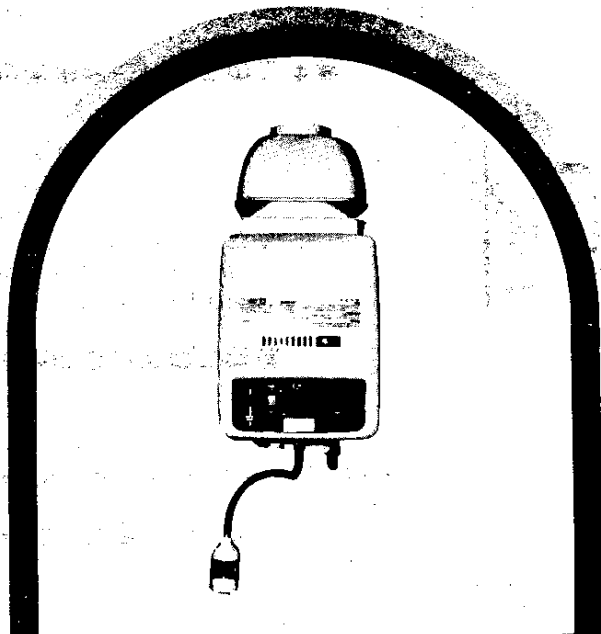
ガス湯沸器

取扱説明書

33-033型

保証書付

型式名 R5-16型



本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

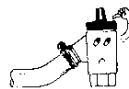
本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪06(202)2221
南支社	〒557 大阪市西区玉出東2丁目9番4号	☎大阪06(652)0001
北支社	〒632 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	〒588 高槻市藤の里3丁目9番6号	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	〒562 西宮西和上町4番11号	☎西宮0784(26)3101
東部支社	〒578 東大阪市稲美2丁目3番17号	☎河内0728(62)1131
京阪支社	〒573 枚方市西玉宮町1丁目7番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	〒550 神戸市中央区相生町5丁目13番12号	☎神戸078(576)5231
京都支社	〒604 京都市中央区烏丸通地蔵堂町3番6	☎京都075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670 姫路西神屋町4丁目8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	〒675 加古川市加古川院栗津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡0792(3)2221
湖南支社	〒525 藤原町通分司学苑6800の	☎津0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町9番41号	☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南貝原町3番4号	☎長浜0749(2)7171

その他サービスショップ

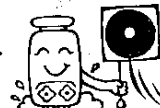
大阪ガス株式会社



小型ガス湯沸器での風呂給湯はおやめください



ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を



ガス湯沸器つけたその手でハイ/換気



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い上げの店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのご湯沸器をお求め
いただきありがとうございました。
この取扱説明書をお読みいただき、保証書と
ともに保存してください。

目次

- 特に注意していただきたいこと..... 2
- 各部の名称と働き..... 5
- 使用方法..... 6
- 長期間使用しない場合..... 10
- 安全装置が作動したときの処置方法..... 10
- 日常の点検・手入れ..... 11
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 13
- アフターサービス..... 14
- 仕様..... 15
- 器具の設置..... 16

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- 器具(銘板)に表示してあるガスの種類
およびガスグループ以外では使用しな
いてください。
銘板は器具右側面下にはついています。
ガスの種類には都市ガスとLPガスと
があり、都市ガスにはガスグループの
区分があります。

(銘板)

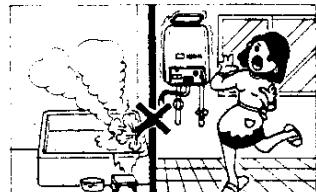
型 式 名
ガスの種類
ガスグループ ガス消費量
製造年月および製造番号
製 造 業 者 名

器具の設置について

- 器具の設置はお買い上げの店に依頼してください。
正しく設置されているか、2~3ページの「設置場所についてのご注意」と16ペー
ジよりの「器具の設置」にしたがって確認してください。

用途についてのご注意

- ① 給湯配管(先止め工事)や給湯ホースの
接続は絶対に行わないでください。
- ② この湯沸器では、ふろへ給湯しないて
ください。
長時間使用で換気不良から不完全燃焼
をおこし危険です



設置場所についてのご注意

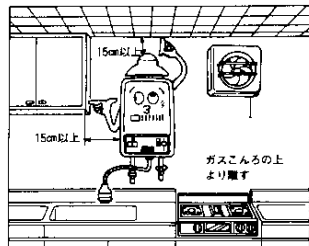
- ① 換気(給気や排気)が十分にできるところに設置してください。
換気扇などを取り付けて換気できるようにして使用してください。
- ② 浴室へは絶対に設置しないでください。
- ③ 屋外へは設置しないでください。
霜や雪のため火が消えたり、冬期には凍結で器具が破損することがあります。
- ④ 強い風の吹き込む所や冷暖房装置の吹き出し口近くには設置しないでください。

こと②

⑤ 家具・壁その他可燃物から十分に離して設置してください。

⑥ ガスレンジやこんろなど燃焼器具の上には設置しないでください。

廃ガスや調理物の蒸気、油などにより、不完全燃焼や、故障の原因になります。また不完全燃焼防止装置が作動することがあります。



⑦ 美容院、クリーニング店、工場など特殊薬品（アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など）を使用する場所には設置しないでください。

特殊薬品は器具の損傷や熱交換器のつまりによる不完全燃焼の原因となります。

⑧ ガソリン、ベンゼン等、引火性危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。

お買い上げ前

1. ガス漏れ予防

① ゴム管はガス用ゴム管を使用してください。

ビニール管は弾力性がなく熱にも弱いので絶対に使用しないでください。

② ひび割れしたり、差し込み口がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。古くなったゴム管は取り替えてください。取り替えの目安は約3年です。

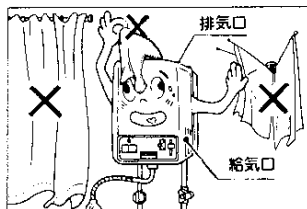
③ 使用後は消火ボタンを押し（器具せんが閉じます）、消火したことを確かめてください。

④ お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんも閉じてください。

2. 火災予防

① 器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

② タオルやふきんなどを器具の排気口の上にかぶせたり、給気口をふさいだりしないでください。



③ 火をつけたままのお出かけや、おやすみは絶対にしないでください。

特に注意していただきたいこと③

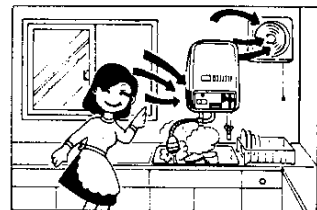
3. やけどのご注意

① 器具があつくなりしますので、操作ボタン・つまみ以外には触れないでください。

② 出湯するときは最初に熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。

4. 飲用にお使いのとき

器具内に長時間たまった水は飲用または調理用に用いないでください。



5. ガス事故防止

① ガス漏れに気付いたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を開けてガスを外へ出してから、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

② ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇など電気器具のスイッチの入・切や電源プラグの抜きさしをしないでください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

6. 異常時の処置

あわてずに消火ボタンを押し（器具せんを閉じ）、ガス元せんを閉じてください。

7. 凍結についてのご注意

冬期、器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するために水抜きをしてください。詳しくは9ページ「水抜き」をご覧ください。

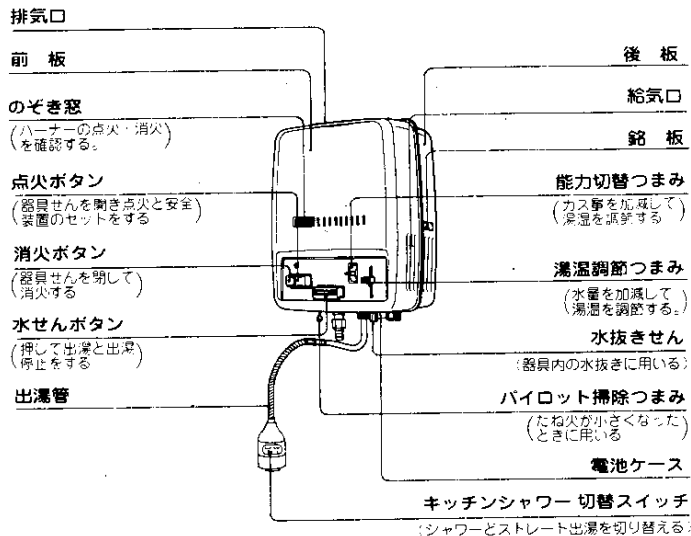
8. 日常の点検・手入れ

① 日常の点検・手入れをしてください。詳しくは11ページをご覧ください。

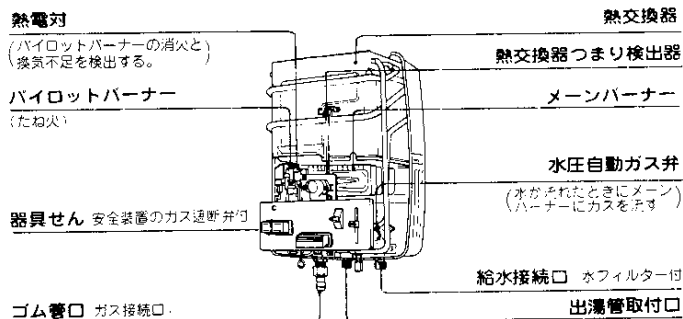
② 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。お買い上げの店にご相談ください。

各部の名称と働き

外観

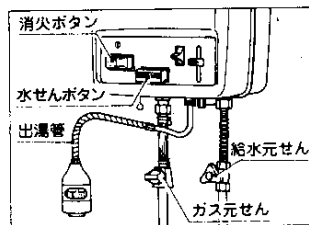


構造(前板を外したところ)



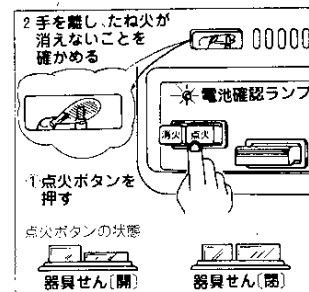
使用方法

点火前の準備と確認



- ① ガス元せんを閉じた状態で水せんボタンを押して出湯管から水の出ることを確かめてください。
確認したら、再び水せんボタンを押して水を止めてください。
- ② 器具せん(閉)を確認して(または消火ボタンを押して)から、ガス元せんを全開にしてください。

点火



- ① 点火ボタンを止まるまでいっぱい押してください。
電池確認ランプが点灯し、「ハチハチ」と連続放電して、パイロットバーナー(たね火)に点火します。
- ② 点火してから手を離し、パイロットバーナー(たね火)が消火しないことを確かめてください。
器具せんが開き、安全装置がセットされます。

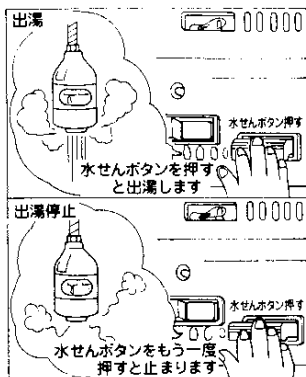
ご注意

- ① 水せんボタンを押す(水を流す)と点火ボタンは押せません。
- ② 朝一番など点火しないときは、しばらく点火ボタンを押し続けてください。
長時間をおいてご使用になるときはゴム管などに空気が入っています。
- ③ 手を離したたね火が消えるときは点火後も約15秒、点火ボタンを押し続けてください。
- ④ 点火ボタンを押しながら水せんボタンを押さないでください。
- ⑤ 点火操作後、たね火が消えた状態では水せんボタンを押さないでください。
水を流すと一時的ですがメインバーナーより生ガスが出ます。このあとしばらく、約1分間は点火操作をすると爆発的に点火して危険です。

使用方法②

⑥ 点火ボタンを押したとき電池確認ランプが光らなくなれば、新しい電池に交換してください。詳しくは12ページ「電池交換のしかた」をご覧ください。

出湯(出湯停止)



1. 出湯

水せんボタンを押してください。
メインバーナーに着火して出湯管よりお湯が出ます

ご注意

- ① たね火がついているのを確かめてから水せんボタンを押してください。
- ② 水せんボタンをいっぱいには押さない、お湯が出ないことがあります。

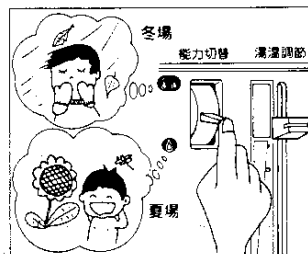
2. 出湯停止

水せんボタンをもう一度押してください。
お湯が止まり、メインバーナーが消火します

ご注意

出湯するときは、一時的ですが前に出ていたお湯より熱いお湯が出ることがありますので、出始めのお湯にはご注意ください。

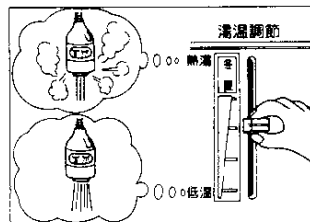
能力切替



- ① 冬や熱湯が必要なときは能力切替つまみを〔冬〕印に合わせてください。
- ② 夏、水温が高くお湯が熱すぎるときは〔夏〕印に合わせてください。
能力切替つまみを〔夏〕印に合わせるとガス量は約70%になります。
少量でお湯を使うときには能力切替を〔夏〕にして、湯温・湯量調節で加減してください。

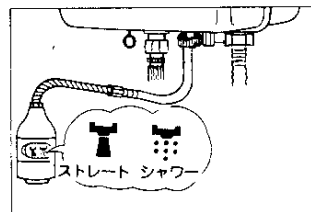
使用方法③

湯温(湯量)調節



1. 湯温調節のしかた

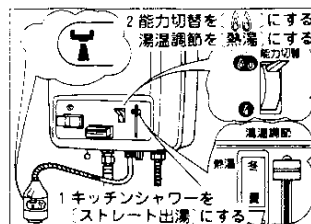
湯温調節つまみを〔低温〕から〔熱湯〕のお好みの温度に合わせてお使いください。
湯量は〔熱湯〕にするほど少なくなり、〔低温〕にするほど多くなります。
能力切替との組み合わせにより、適切な湯温・湯量調節を行なってください



2. キッチンシャワーの使い方

キッチンシャワー切替スイッチの〔T〕印を押すとストレート出湯に、〔S〕印を押すとシャワー出湯になります。

熱湯のときは、飛散を少なくする働きのあるストレート出湯にしてください。



3. 熱湯使用

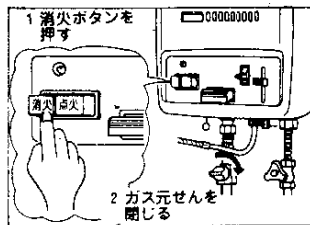
- ① キッチンシャワーをストレート出湯にしてください。
- ② 能力切替を〔冬〕、湯温調節を〔熱湯〕にして出湯させてください。
使用後は、やけど防止のため湯温調節を〔低温〕に戻してから、お湯を止めてください。

ご注意

- ① 夏など蒸気が多く出るときは湯温調節を〔熱湯(夏)〕に合わせてください。
水圧が低く蒸気が多く出るときにはメインバーナーが点滅作動することもあります。故障ではありません。
- ② 熱湯が手などにかからないように、また熱くなった出湯管(金属部)に手などが触れないようにご注意ください。

使用方法①

消火

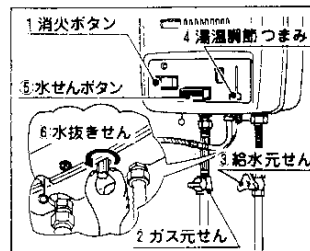


- 1 消火ボタンを押してください。
器具せんが開じ、パイロットバーナーたね火が消火します。
- 2 ガス元せんも閉じてください。

水抜き(凍結防止)

1.凍結防止

冬、取付場所の温度が氷点下になるときは凍結のおそれがありますので、水抜きを行なってください。



2.水抜き方法

- 1 消火ボタンを押す。
- 2 ガス元せんを閉じる。
- 3 給水元せんを開める。
- 4 湯温調節つまみを「低温」にする。
- 5 水せんボタンを押す。(開にする)
- 6 水抜きせんを左に回して開ける。

② 次にお使いになるまで、そのまましておいてください。

③ 再度ご使用になるときは、水抜きせんを閉め、給水元せんを開き、出湯管から水が出ることを確かめたあと、水せんボタンを押し止水してからにしてください。

3.凍結したとき

① 凍結したときは、器具に異常が生じる場合があります。凍結が解けたあと、水漏れや作動に異常がないか、注意してご使用ください。

② 器具や配管が破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)

長期間使用しない場合

- ① ガス元せんを閉じ、水抜きを行なってください。
- ② 電池を電池ケースより抜いてください。
乾電池の液漏れにより器具をいためることがあります。

安全装置が作動したときの処置方法

パイロット安全装置

- ① パイロットバーナー(たね火)の消火に気づいたときは、すぐに消火ボタンを押し、お湯(水)を出すのをやめてください。
- ② たね火が消えたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まります。
ただし点火操作で点火しなかったとき、たね火が消えたあと、しばらく1分以内は安全装置の作動が遅れます。
安全装置が作動するまでの間に水せんボタンを押す(水を出す)とメインバーナーより一時的に生ガスが出ますので、このあと点火操作すると危険です。

ご注意

- ① 点火操作は消火ボタンを押し水も止めて、しばらく(約1分)待ってください。
- ② 使用中たびたび安全装置が作動するときは、お買い上げの店に点検を依頼してください。

タイマー装置

- ① 約10分以上の連続使用をした場合には、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。
- ② 再使用される場合は、消火から約8分以上経過後に改めて点火操作をしてご使用ください。
再使用時間は、初期の使用時間より短くなります。

〈ご注意〉

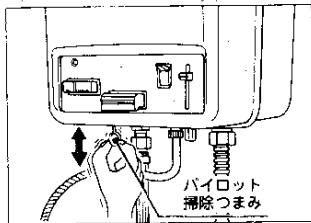
使用中たびたび消火する場合は、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。

日常の点検・手入れ

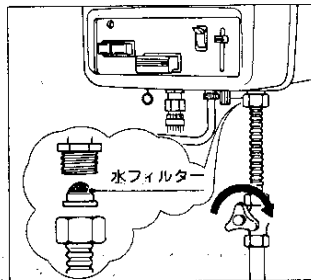
点検

- ① ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか。
ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は、必ず取り替えてください。
ゴム管は、赤線まで差し込みゴム管止めですっかり止めてください。
- ② ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときとき石けん水などで点検してください。
- ③ 熱交換器のつまりやバーナー部のつまりはありませんか。
不完全燃焼の原因になりますので、半年に一度程度は前板を外して点検してください。(前板の外し方は次のページをご覧ください。)
熱交換器(排気口の内側)やバーナー部に白い粉やすすなどのつまりがあるときは、お買い上げの店に掃除を依頼してください。(有料)
- ④ 使用中、不快なおいしめたり、炎に不ぞろいなどの異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの店にご連絡ください。

- ⑤ パイロットバーナーの掃除方法
パイロットバーナー(たね火)が小さくなっているときは、パイロット掃除つまみを数回下へ引いてください。
メインバーナーへ着火するときに大きな音がしたり、安全装置が作動してガスが止まる原因になります。



- ⑥ 水フィルターの掃除方法
湯沸器だけの水の出が悪くなりメインバーナーに着火しないときは、水フィルターにゴミや砂がたまっています。次の手順で掃除してください。
 - 1 給水元せんを閉める。
 - 2 工具で給水接続管を外し、水フィルターを引き出し掃除をする。
 - 3 配管内のゴミを流してから、元どりに取り付ける。



日常の点検・手入れ②

手入れ

1. 手入れ

器具外側の汚れはやわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。
金属たわし、スポンジたわし・みがき粉、シンナーなどは使用しないでください。

ご注意

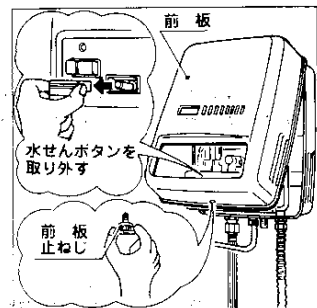
手入れは、ガス元せん、給水元せんを閉めて、器具が十分に冷えてから行ってください。

2. 前板の外し方

- ① 次の手順で外してください。
 - 1 水せんボタンを引いて外す。
 - 2 前板下面中央の前板止めねじを外す。
 - 3 前板の下部を少し持ち上げるように手前に引いて外す。
- ② 取り付けは前板の上部左右を引っ掛けて、元どりにしてください。

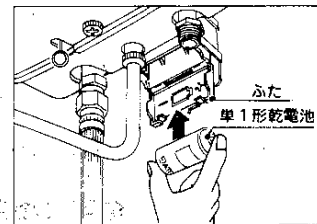
ご注意

器具の内部は分解しないでください。



電池交換のしかた

- ① 点火ボタンを押したときに、電池確認ランプが光らなくなれば、新しい電池に取り替えてください。
- ② 電池ケースのふたを開けて新しい電池と入れ替えてください。
電池は単1形乾電池(SUM-1/1.5V)です。
電池の入れ方には方向があります。
右が+側で左が-側です。



故障・異常の見分け方と処置方法

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちに使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象	処置方法	お買い上げ店・大阪ガス 使用者
ガス元せんの開け忘れ		消火ボタンを押してからガス元せんを全開にする	
ガス元せんの開き不十分	●	点火するまで、点火ボタンを押し続ける	
配管(ゴム管)内に空気が入っている・残っている	●	点検を依頼する	
ガス圧が適切でない	●	給水元せんを開ける	
給水元せんの開け忘れ	●	水フィルターを掃除する 11ページ参照	
器具の水フィルターがつまっている	●	点検を依頼する	
水圧が適切でない	●	「使用方法 点火」 6ページ参照	
点火操作が適切でない	●●	「使用方法 能力切替 湯温調節」7～8ページ参照	
能力切替・湯温調節の操作が適切でない	●●	一度お湯を止めて、5秒ほど待って再出湯する	
完全に消えない間に再着火させる	●	使用中は必ず換気する	
換気不足	●	「安全装置が作動したときの処置方法」10ページ参照	
安全装置の作動	●	電池を取り替える 12ページ参照	
電池が消耗している	●●	パイロット掃除つまみを引はる。11ページ参照	
パイロットバーナーのノズルづまり	●●●	点検・掃除を依頼する	
バーナー部のつまり	●●●●		
熱交換器のつまり	●●●		
点火装置の故障	●	点検・修理を依頼する	
器具せんの故障	●●●		
水圧自動ガス弁の故障	●●●●		

アフターサービス

サービス(点検・修理)のお申し込み

- ①前のページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- ②確認のうえそれでも不具合な場合、あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
- ③アフターサービスをお申し付けのときは次のことをお知らせください。
 - ①品名……ガス湯沸器(瞬間元止め式)
 - ②品番……33-032型(ラベルを左側面下部にはっています。)

(例)

(N) 33-033 (U)

大阪ガス株式会社 08

③現象……できるだけ詳しく

保証書について

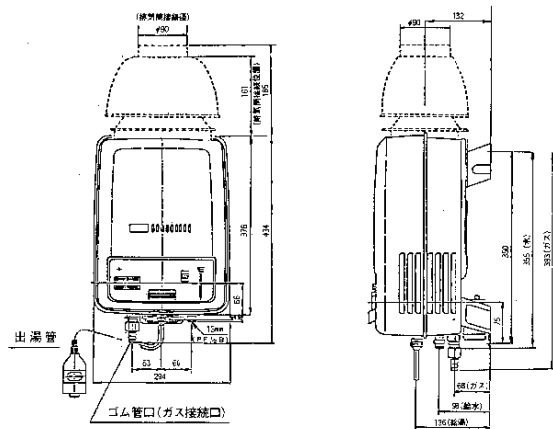
- この湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。なお、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、詳しくは保証書をご覧ください。

転居される場合

- ①カスの種類には都市ガスとLPガスがあり、都市ガスには14のカスクループの区分があります。カスの種類およびカスクループの異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。
このときの調整・改造工事の場合は別途料金がかかります。
- ②カスの種類およびカスクループの異なる地域へ転居される場合は、転居先のカスを確認の上、もよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご相談ください。

仕様

外形寸法図

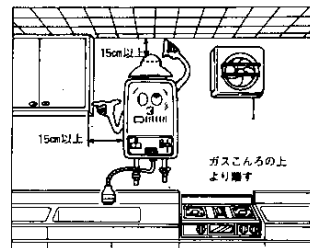


仕様一覧表

種別		33-032型			
項目		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
ガス消費量		9,900kcal/h			0.81kg/h
出湯能力	25℃上昇	5.0ℓ/min			
	40℃上昇	3.1ℓ/min			
種類	給湯方式	瞬間元止め式			
	給排気方式	開放式			
点火方式		連続放電点火式			
安全装置		パイロット安全装置・不完全燃焼防止装置			
外形寸法		高さ430mm×幅294mm×奥行229mm			
重量		6.5kg			
水圧	使用水圧	0.5kg/cm ² ~7kg/cm ²			
	作動水圧	0.4kg/cm ²			
接続	ガス	都市ガスφ13mm ゴム管口	PT 1/2(TU)ねじ接続可能		
	給水	LPガスφ9.5mm ゴム管口	PF 1/2B(15A)		
付属部品		防熱フード(取付足付)・出湯管・木ねじ(3本)			

1. 湯沸器の取り付け

- ① 取り付け高さはのぞき窓を目の高さにすると使いやすくなります。
- ② 防熱フードを取り付けて天井から15cm以上離してください。
- ③ 両側面は家具や壁より15cm以上離してください。

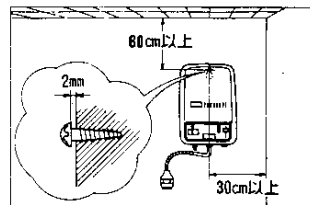


- ④ 次の手順で取り付けてください。

- 1 木ねじを天井より80cm以上、家具や壁より30cm以上離れた位置に、ねじ込みしろ2mmを残して取り付ける。

(取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。)

- 2 木ねじに取付足上部穴を引掛ける
- 3 湯沸器をまっすぐにして取付足下部穴2か所を木ねじで締め付ける。



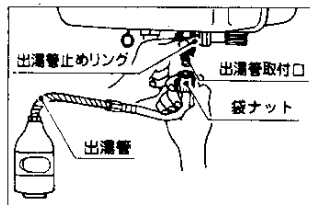
2. 部品の取り付け

- ① 防熱フードを取り付けてください。

- 1 防熱フードに取付足を差し込む。
- 2 取付足を後板へ差し込む。

- ② 出湯管を取り付けてください。

- ① 出湯管取付口に出湯管を差し込む。
- 2 出湯管止めリングと出湯管の袋ナットを締め付ける。



- ③ 単1形乾電池を電池ケースへ入れてください。

電池の入れ方は12ページ「電池交換のしかた」をご覧ください。

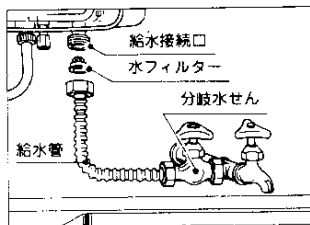
器具の設置②

給水配管工事

- ① 配管工事は給水事業者の指定工事店で、規定に従って行ってください。
- ② 給水圧力は0.5kg/cm²(6ℓ/min通水時)以上必要としますので、十分な給水能力を確保してください。
この湯沸器は水圧を利用してガス弁の自動開閉を行なっています。
- ③ 水道側には給水元せんまたは分岐水せんを取り付けてください。
- ④ 器具の給水接続口へ給水管を接続してください。
給水管には市販の全金属フレキ管も利用できます。

ご注意

- ① 給水接続口に水フィルターが挿入されていることを確かめてください。
- ② 器具に接続する前に配管内のコミ・砂・シール材などを水で流してから接続してください。

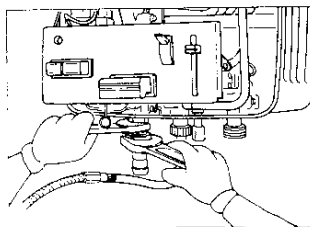


ガス配管工事

- ① ガス工事は大阪ガスにご相談ください。
- ② 器具を設置する場所に専用のガス元せんがない場合、あっても位置や口径などが適切でない場合は、新設または交換する必要があります。
- ③ ゴム管を他の部屋から延長したり、継ぎたしや分岐(二また)させたりして使用しないでください。
- ④ 金属管、金属可とう管または継手付強化ガスホース配管することができます。
ねじ接続するときは、ゴム管口(ホースエンド)を取り外してください。

ご注意

ゴム管口の取り外しやねじ接続時は器具の六角部にスナナを掛けてください。

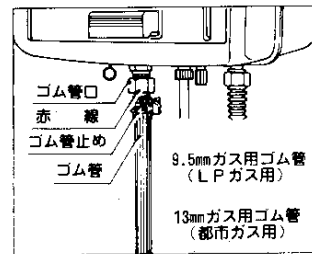


- ⑤ 強化ガスホースを接続する場合はゴム管口の挿入指示位置(赤線)まで差し込み、抜け防止金具で締め付けてください。

- ⑥ ガス用ゴム管を使用する場合は、ゴム管口の赤線まで差し込みゴム管止めでめてください。

ご注意

- ① ゴム管は折れたり、ねじれたりしないようにして、できるだけ短かくしてください。
- ② ゴム管はこんろなどの熱を受けたり高温部に触れないようにしてください。



換気扇運動スイッチの設置

- 室内の換気をより確実にこなうために、便利な換気扇運動スイッチの設置をお勧めします。
換気扇運動スイッチを別売していますので、お買い上げの店にご相談ください。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス社にご連絡ください。